

世帯と人口
 (平成8年8月1日)
 世帯 40,648 (+80)
 人口 114,952人 (+129)
 男 59,027人 女 55,925人
 ※平成7年国勢調査の集計結果により、数値が変動することがあります。

広報えびな

編集・発行
 海老名市役所秘書広報課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



右上写真から屋内消火栓操法の訓練。号令をかける野田さん(写真左)

25階の細腕ファイアマン!

安心 安全 快適がモットー



野田さん(右)と菅原さん

9月1日は防災の日。そして、今月5日までは防災週間です。各地区では、自主防災組織を中心に突然の災害に備えて、避難誘導や消火訓練などが行われます。去年7月にオープンした25階建ての高層ビルの広場で、屋内消火栓操法の訓練をしているのは、同ビルを含む4棟の警備を男性警備員とともに担当している女性警備員です。利用者の方々に「安心・安全・快適」を提供するために、日頃から各種訓練を行い備えています。

「放水開始!」と、号令が響く。作業服でヘルメット姿の女性警備員が、指揮者の野田幸子さん(中央3丁目在住、21歳)の号令のもと、機敏な動作で、屋内消火栓操法の訓練を行っています。

野田さんと菅原倫子さん(東柏ヶ谷1丁目在住、19歳)の2人は、6人の女性警備員とともに、4棟周辺の巡回やインフォメーションでの受け付けなどのほか、いざという時のため定期的に屋内消火栓操法や火災時の非常放送、護身術、人工蘇生法などの各種訓練も行っています。

また、各ビルに設置されている消火器の取り扱いやその機能、取り付けがある場所、火災報知器の種類など、覚えることはたくさんあるそうです。万一、ビルで火災などが発生した時には、①消火②非常放送③避難誘導など、自分の役割が決まっています。全体として統一行動ができるよう訓練を積み重ねています。

仕事を始めて2年目の菅原さんは「今は慣れましたが、敬礼や基本動作などの練習では、規律正しくして高校生活にもどったみたいでした。今一番心がけている事は、言葉遣いです」と。「受け付けや巡回をしていると、道や催し物などを尋ねられることが多いですね。先日も耳の不自由な方に話しかけられて困ってしまいました」と野田さん。

「一番つらい事は賞問には「雨や風の強い日の巡回は大変です。また、勤務の関係で友達と土・日曜日に遊べないのも寂しいです」と。

10月19日、市役所で行われる屋内消火栓操法大会には、野田さんが指揮者、菅原さんが2番員として2人と初めて出場する予定です。現在週1回練習を行っています。

野田さんは「なんとと言ってもチームワークが大切です。大きな声を出して頑張ります」。また、菅原さんは「ホースを巻いたり大変ですけど、終わった後のスッキリした気分がいいですね」と若さいっぱい話してくれました。

みんなの愛と協力で

9月1日～10月31日 福祉強調月間

「だれもが平等で生きがいを持って生活できるまちづくり」をめざして、今年も「みんなの愛と協力で」をテーマに9月1日から10月31日まで「福祉強調月間」キャンペーンを展開します。期間中は、福祉関係の各種催しを実施します。お年寄りや障害のある人も、みんなが互いに交流し、連帯の輪が広がるよう市民のみなさんのご協力ををお願いします。

敬老のつどい

75歳以上のお年寄り(大正10年9月15日以前に生まれた方)をお招きし、ウクレレ演奏と民謡・歌謡ショーを行います。
対象の方には、民生委員を通じてご案内をさせていただきます。
▽日時 9月6日(金) 午前10時から(上今泉、望地、国分北、国分南、中央1・2丁目、勝瀬、大谷、浜田町、国分寺台、中心街の方) 午後2時から(東柏ヶ谷、柏ヶ谷、今泉、上郷、河原口、中央3丁目、さつき町、中新田、今里、杉久保、社家、上河内、中河内、中野、本郷、門沢橋の方) 会場 市文化会館 内容 牧伸二(ウクレレ演奏)、岸千恵子(民謡・歌謡ショー) 問い合わせ 高齢者福祉課(内462・466)

長寿のお祝い

長寿のお祝いとして、敬老年金と喜寿、米寿、白寿の記念品を贈呈されます。
80歳以上の方(大正5年9月1日以前生まれ)には、敬老年金として6千円が贈呈されます。また、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)の方には記念品として綿毛布が贈呈されます。平成7年9月17日から平成8年9月16日までに該当の歳に当たります。 会場 市役所 午後1時 内容 講演「生きがいとボケにならない法」、講師 聖マリヤンナ医科大学学長 長谷川和夫氏 参加申込 10月15日まで電話で高齢者福祉課(内462)へ。年齢制限はなく、なたでも参加できます。 定員 120人。

喜寿お祝い写真無料で

喜寿(77歳)をお祝いして写真無料で撮影されます。
▽対象 満77歳の方(大正8年に生まれた方)。※年齢を証明する書類等の提示をお願いします。
9月15日(日)から21日(土)まで 実施店 高野写真店(31・3475)、宮下写真店(34・4437)。この他、加盟店も利用できます。 問い合わせ 高齢者福祉課(内462)。

生きがいシンポジウム

高齢者の生きがいづくりについて考えるため、講演とシンポジウムを開催します。よろづでご参加ください。また、ご意見のある方は、当日の討論にご参加ください。
10月29日(火) 午後1時30分から4時まで 会場 市役所 内容 講演「生きがいとボケにならない法」、講師 聖マリヤンナ医科大学学長 長谷川和夫氏 参加申込 10月15日まで電話で高齢者福祉課(内462)へ。年齢制限はなく、なたでも参加できます。 定員 120人。

福祉講演会

市民一人ひとりが高齢化社会に向け、お年寄りも若い人も健全で幸福な生活を送るための自覚と心豊かな福祉社会の実現をめざし、福祉に対する市民意識の高揚と地域福祉推進のための市・市社会福祉協議会主催による、第5回福祉講演会を開催します。
9月28日(土) 午後1時から3時30分まで(受付は午後1時から) 会場 市役所 内容 講演「生きがいとボケにならない法」、講師 聖マリヤンナ医科大学学長 長谷川和夫氏 参加申込 10月15日まで電話で高齢者福祉課(内462)へ。年齢制限はなく、なたでも参加できます。 定員 120人。

社会福祉大会

11月9日(土) 午後1時から4時まで 会場 市文化会館 内容 社会福祉功労者表彰、アトラクション 問い合わせ 市社会福祉協議会(35・0220)へ。

老人クラブに加入しましょう

老人クラブは、お年寄り自らが組織する団体で、自主的な学習活動、レクリエーション、スポーツ、健康づくり、旅行、地域福祉活動など幅広く活動を展開して、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しています。老後の生活を有意義にするために、仲間づくりが必要ではないでしょうか。老人クラブに加入して仲間をつくり、明るく楽しい老後を過ごしましょう。現在市内には、約3千000人が加入して活動しています。60歳以上の方ならどなたでも加入できます。加入手続きは、お住まいの地区のクラブの会長に申し込めば大丈夫です。まだ加入していない方は、ぜひお問い合わせください。詳しくは、高齢者福祉課(内462)へ。

みんなの



保育園児からお年寄りに花束が(去年の)

各種サービスのご利用を

問い合わせ 高齢者福祉課(内462・466)

デイサービス

身体機能が低下して、介助がないと外出できなくなったり、老人クラブへの参加が困難なお年寄りの交流の場として、デイサービスがあります。本人の状態、介護者の状況等により週1～3回、ケアセンターに通い、健康チェックやゲームなど各種サービスにより、心身機能の維持を図り健康や生きがい、介護者の介護負担軽減など大変役立ちます。

ホームヘルプサービス

寝たきりやひとり暮らしのお年寄りの家庭をホームヘルパーが訪問し、身の回りのことについて援助をしています。援助内容は、食事の世話や掃除、洗濯、身体介護、入浴の介助などです。費用は派遣される世帯の所得に応じて一部負担されています。1時間当たり250円から300円です。なお、所得税非課税世帯は無料です。派遣先は365日。派遣時間は午前7時から午後10時までです。 対象 市内在住で日常生活に援助を必要とする、お年寄りが65歳以上の方のいる世帯。

ショートステイ

ショートステイは、介護者の疾病、冠婚葬祭、介護疲れによる休養や、旅行などの理由で寝たきりのお年寄りの介護が一時的に家庭でできない場合、お年寄りに短期間介護老人ホームや特別養護老人ホームへ入所していただき家族などの介護者の負担軽減を図るものです。期間は7日以内。ただし、介護者が病気の場合は、必要30日以内の範囲で延長ができます。費用は、1日当たり千円から2千円です(生活保護世帯は減免制度があります)。 対象者 おおむね65歳以上で、寝たきり、痴呆などで日常生活を営むのに支障がある方。

日常生活用具貸し出し・給付

寝たきりや痴呆性の方に、自宅で少しでも快適に生活していただくため、電動ベッド、エアーマット、車いすなどの貸し出しや、紙おむつ、おむつカバーなどの給付を行っています。費用は、世帯の所得に応じて一部負担がありますが、所得税非課税世帯は無料です。

配食サービス

市では、食事作りに何らかのハンディキャップを抱えている高齢者のために「配食サービス」を行っています。 税世帯は無料です。 対象者 おおむね65歳以上で、寝たきり、痴呆などで日常生活を営むのに支障のある方。

相談は無料

お年寄りや身体の不自由な家族のごと、悩みを聞いてほしい。心配ごと、悩みを聞いてほしい。また、買い物や、衣服の着替え方を教えてほしい。寝たきりの方の介護の方法を教えてください。 一時に預かってくれる施設を教えてください。 便利な介護用品を教えてください。 ほしい、または買いたい。など、どんなことでも受け付けます。一人で悩まずお気軽にご相談ください(秘密は厳守します)。 相談には、電話による相談、直接センターへ来所していただく相談、相談員が直接みなさんの自宅へ訪問する相談があります。

さつき町在宅介護支援センター

お気軽に相談を(34・7226) 市医療センターの2階に、今年4月から市内初の在宅介護支援センターが開設されました。ここでは、在宅の寝たきりや痴呆などで介護を必要とする高齢の方、身体の不自由な方や、その家族の方々が、自分ごとで、気軽に、専門家に相談できる施設です。

さつき町在宅介護支援センター

さつき町在宅介護支援センターでは、相談された方の状況を個人ごとにとり、1回の相談では終わらざるよう、長期的な目で見守り、その方に合った在宅介護に関する各種サービスの紹介や助言を行っています。

全国下水道促進デー

下水道は、快適な居住環境の実現と、河川・湖沼・海などの公共用水域の水質汚濁を防止するために不可欠な公共施設です。神奈川県下の下水道普及率は、平成7年度末で69.2%。当市で79%となっており、整備の一層の促進が急がれています。 こうした現状に対し、下水道整備促進について、みなさんの理解と一層の協力を得ることを目的に、国・都道府県・市町村などが中心となり、9月10日を「全国下水道促進デー」として全国的な広報活動が行われます。 市でも9月7日に「サティ海老名本店の広場」で下水道キャンペーンを開催します。 当日は、下水道に関するパネル、機材等の展示や、記念品・花の種などを無料で配布します。ぜひ、来場ください。開催時間は、午前10時30分からですが、記念品等の配布がなくなり次第、終了とさせていただきます。 ◎接続はお早めに 公共下水道が供用開始された地区では、トイレの水洗化と雑排水の下水道への接続が義務づけられています。せつ、かつ、多大な費用をかけて下水道を整備しても、それに接続して使用しなければ下水道事業の目的は達成できません。 市では、供用開始後3年以内に下水道に接続していただくよう呼びかけています。 下水道は子や孫に贈る大きな遺産です。供用開始区域のみならず、下水道の目的をご理解され、早期に接続されるようお願いいたします。 ◎下水道いろいろコンクール 日本下水道協会では、第36回下水道促進デーの一環として「下水道いろいろコンクール」を実施します。ふるってご応募ください。▽応募要領 左表のとおり▽締め切り 11月30日(当日消印有効) 発表 平成9年3月1日(予定・入賞者に通知) 送付先 〒243-04 勝瀬1-1 海老名市役所 下水道業務課 問い合わせ 下水道業務課(内462)へ。

種別	テーマ	応募資格
ポスター	「下水道」をテーマとし、日常生活の中で、下水道に関するさまざまな事柄を表現した作品。たとえば、想像、表裏、自由な発想、表現など、自由におもしろいこと、先生さんに見ていただくこと、きれいな川や海で遊んだことなど。	小・中
作文	「下水道」をテーマとし、日常生活の中で、下水道に関するさまざまな事柄を表現した作品。たとえば、想像、表裏、自由な発想、表現など、自由におもしろいこと、先生さんに見ていただくこと、きれいな川や海で遊んだことなど。	小・中
写真	写真については「あなただけの下水道」として、下水道と関わりあっている作品を募集します。写真には住所、氏名、年齢、職業、電話番号、撮影日時、場所、写真データを添付してください。	制限なし

EBINA SOUND SESSION ~VOL.1~ RAZZ MA TAZZ CONCERT TOUR

▽日時 12月5日(木) 午後6時30分開演 入場料 4千円(全席指定) 前売開始 9月8日(日) 午前9時から市文化会館にて先行発売(1人4枚までの発売) ※会場 一般発売は9月15日(日) からになります。 市文化会館ホール。 ※これら3つの催しは、市・市文化会館事業協会の主催で行います。チケット販売は、文化会館のほかにもあります。詳しくは市文化会館まで直接お問い合わせください。

文化会館 ☎32・3231

東京室内管弦楽団 名曲コンサート

▽日時 10月25日(金) 午後6時30分開演 入場料 3千円(全席指定) 前売開始 9月15日(日) 窓口販売は午前9時から 電話予約は午後1時から 会場 市文化会館ホール。

海老名市寄席

桂歌丸・三遊亭楽太郎 二人会

▽日時 11月17日(日) 午後4時開演 入場料 2千500円(全席指定) 前売開始 10月6日(日) 窓口販売は午前9時から 電話予約は午後1時から 会場 市文化会館ホール。

プレイングガイド



増山 風香ちゃん



坂内 祐香ちゃん

今、いたずらとあんよに夢中です。ママはわたしのことを、「風怪獣」と呼びます。何でかなあ？(東柏ケ谷、増山薫・直子さんの長女)

お姉ちゃんが大好き。覚えてのあんよで、毎日追いかけて遊んでいます。絵本を見るのも大好きです。(望地、坂内明治・美智子さんの二女)

まんまるおちん



加藤 奏子ちゃん



相田 夏紀ちゃん

パソコン大好き。特にマウスをなめるの大好き。パパもこれだけは許してくれません。「どうか見逃して！」(杉久保、加藤栄昭・玲子さんの長女)

あんよができるようになって、うれしくてたまらない様子。いたずら大好きな元気いっぱい女の子です。(大谷、相田真治・玲子さんの長女)

▼親と子の陶芸教室

中新田小学校で親と子の陶芸教室が開かれ、きれいに着色されたお皿や茶わんなどが見事に焼き上がった。



フットボールボックス



▲親子の工作教室
有鹿小学校で親子が木製ティッシュボックス作りに挑戦。設計から組み立てまで4日間の楽しい共同作業の教室でした。

▼親子水泳教室

7月31日から8月4日までの5日間、有鹿小学校のプールで市内の初心者親子を対象に水泳教室が開かれた。最終日には、水中を自由自在に。



▲親子ナイトウォータロリー大会
8月11日の深夜午前0時、71組294人が参加し市内約12キロのウォータロリー大会が行われた。

楽しい仲間

バスケットを通して和づくりを



何か体を動かしたいというきっかけで集まったママさんの私たちは、結成7年で昨年の全国大会へ出場したママさんバスケットボールチームの「ピギン」です(現在メンバー22人。「一から始める」という意味のチーム名でスタートした素人集団ですが、5月に行われた「神奈川県ママさんバスケットボール交歓大会」で3位入賞し、北海道菅更(おとふけ)町で開催された全国大会へ出場しました。県大会での他チームは、学生や実業団などで活躍した選手が大勢いる中、名のおとり基礎から、ルールから覚え、練習の汗の成果が全国への道となつたと指導する田中とし子監督は話してくれました。県の予選は2日間で行われましたが、朝7時には家を出て1日3試合をこなし帰宅は夜の9時、子供のころなど家庭内の協力もかなり必要だったとのこと。

さらに、7月26日から28日までの全国大会では、夫に会社を休んでもらって家事を頼んだ人も。メンバーの中には夫の給料をすべて任されて家計のやり繰りもやっている人も、北海道への旅費などは、好きでやっていることなので、2ヵ月近くパートタイムをして捻出した人もいたとエピソードを話してくれました。

一般の部、56チームが参加した大会の1回戦は北海道の選抜と対戦。前半6点のリードも後半の残り1分で逆転され、わずかに1点差で惜しくも負けたそうですが、敗者戦では見事勝ち有終の美を飾って帰ってきました。個人個人の能力に応じ、無理をしないで楽しく健康的な活動を続け、市外に転居してもチームに参加する人も多いというこのチーム。

平均年齢は、結成時から7年を経ている30をかなり超えています。子育てが一段落したからやってみようというより、人生を前向きに考えて生きているように練習風景からは見られました。今後楽しい仲間づくりを期待しています。



白熱した試合が繰り広げられた

▽今月の一面は、若い女性の登場でした。取材のため、暑い中、何回も屋内消火栓操法の動作をさせていただきました。▽現在、10月

編集後記

19日の大会にむけて練習中です。野田さんの号令のもと、若さあふれる演技できつと良い成績がおさまられることでしょう。(正)